

環境配慮個票

事業名	農村地域防災減災事業	地区名	大峯池	受益面積	12.0ha
関係市町村名	土佐清水市	予定工期	平成30年度～平成32年度		
総事業費	334,000千円	H31以降事業費	290,400千円		
総事業量	ため池耐震対策：1池 大峯池	H31以降事業量	ため池耐震対策：1池 大峯池		
マスタープランの区分	環境配慮区域	自然公園等の指定	無		
既存資料による希少種の情報の有無	有（H30環境調査資料）				
<p>周辺の環境</p> <p>本地区は土佐清水市の東海岸部に位置し、第三系四万十帯南帯室戸半島層群に属する清水層が分布している。一般気象は、年平均気温18.2℃、年平均降水量2,479mmで地区の傾斜は1/100～1/1000であり、平坦な温暖地帯に位置し主に水稻栽培の盛んな農業地帯である。</p>					
<p>地区の環境の特性</p> <p>◇概況 大峯池の左岸側は広範囲をスタジイ群落・アラカシ群落が占め、谷筋にスギ植林地が分布するほか、断片的にコシダ群落分布していた（図4）。大峯池の右岸側はタブノキ群落占め、斜面下部や谷筋にスギ植林地、尾根状の場所や斜面上部にヒノキ植林地が分布していた。堤体部はススキ群落が成立し、その周辺の管理道沿いにはスギ植林地や先駆的な樹種で構成されるアカメガシワ群落が分布していた。大峯池下流部の農地は水田が占めていた。稲刈り後はコナギやミズネコノオ等が優占する水田雑草群落と、植被率の低い耕起裸地に区分された。</p> <p>◇調査結果</p> <p>○植物 ・104科324種の植物を確認した。</p> <p>○昆虫類 ・56科118種の昆虫類を確認した。</p> <p>○その他 ・特定外来生物「オオクチバス（ブラックバス）」が確認された。</p>					
<p>配慮すべき事項</p> <p>1. 農地（水田）に生育する植物重要種への配慮 2. 大峯池及び流入部に生息する水生生物への配慮</p>					
<p>配慮方針</p> <p>1. 植物重要種が生息する水田に対し「表土扱い」による埋土種子保全に留意する。 2. 工事中は大峯池の水が抜かれるため、水生生物の生息できる水たまりを流入部付近に創出する。また、生息が確認されているオオクチバス（ブラックバス）等の外来種については駆除を行う。</p>					